



隊友千葉だより

平成26年9月号 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibatayuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibatayuu.com/

【事務所 開所時間】
原則として月・水・金 1000～1500
(月・水：土屋 金：内田)

駐屯地・基地夏祭り開催

8月初旬、猛暑の中、空自木更津分屯基地、陸自習志野・松戸・下志津各駐屯地で夏祭り(盆踊り大会)が開催され多くの市民で賑わった。



◆今金 松戸駐屯地司令は着任日に即盆踊りを主催



◆松戸 部隊別盆踊り



◆下志津花火



◆松戸 子供踊り



◆習志野花火



◆松戸はサンパ!



◆主催者挨拶



◆炎暑の中、初めは雨、徐々に多量な雨

第28回戦歿者追悼中央国民集会に参加

8月15日(金) 10時半から靖国神社参道に設けられた特設テントにおいて「英霊にこたえる会」及び「日本会議」主催で約1400名が参加して開催、総理の靖国参拝の継続を呼びかけた。国歌斉唱の後、英霊にこたえる会副会長・日本郷友連盟会長の寺島泰三氏の首領で靖国神社拝礼を行い、終戦の詔書拝読、主催者代表挨拶(日本会議会長 三好 達氏、英霊にこたえる会副会長 小田村四郎氏)、各界代表(次世代の党幹事長・衆議院議員 山田 宏氏、アジア支援機構代表理事 池田哲郎氏、中央大学名誉教授 長尾一雄氏)の提言と続き、正午に合せて戦没者へ黙祷を捧げた。その後天皇陛下のお言葉拝聴(日本武道館の政府主催式典の実況放送)、声明文朗読、国民運動のアピール、「海ゆかば」斉唱で幕を閉じた。県から会長、事務局長等が参加。

手賀沼トライアスロン支援

本年も「よみがえれ手賀沼」のスローガンのもと、8月24日(日)、第9回大会が開催された。沼南支部は第1回大会から支援に当たっている。今回も中山支部長(大会副委員長)、満副支部長、河西理事役(大会実行委員)及び会員18名がボランティアとして大会を支援した。大会は、浜田ほづみ県議(大会会長)の挨拶で始まり森田県知事(代理副知事)、秋山柏市長、星野我孫子市長の挨拶で盛り上がった。初心者に優しい緩やかなコースやお手ごろな参加費など、希望者が多く、今では人気の大会となっている。選手を目的に臨場感のある応援ができるのも特徴。今回は、秋山柏市長が選手として参加、見事スイム、バイク、ランを完走。また、表彰式では、本年も中山支部長が入賞者に賞品を渡すプレゼンテーションを務めた。【沼南支部 河西伸人】



◆スイム競技のスタート



◆表彰式



◆バイク競技スタート

事務局からの連絡事項

- ◆平成26年度中央防衛セミナー
10月9日(木) 13時15分、(株)損保ジャパン本社ビル2階(新宿区西新宿1-26-1、新宿駅西口から徒歩10分)にて開催。
テーマ「混迷を深めるアジア情勢と我が国の選択」、講師「河東吾夫(かわとう さお)氏(早大非常勤講師)」「世界大乱? 日本の進路」、呉 善花(おんずか)氏(拓大国際学部教授)。「日韓はなぜ和解しないのか」、申込み不要。入場無料。自由に入れます。早めに入場を!
- ◆下志津駐屯地追悼式場整備
自衛隊殉職隊員千葉県追悼式会場及び周辺の樹木の剪定及び清掃を実施。時期10月2日(木) 作業のできる服装で下志津駐屯地に集合。作業用器材は駐屯地で準備。交通費は県から支給。参加希望される方は9月27日までに所属支部長又は県事務局まで。
- ◆27年度版靖国カレンダーについて
英霊にこたえる会発行。6枚綴り(2か月1葉)。一部500円。個人宛て送付も可。1力所25部以上は送料無料。10月24日までに県事務局へ申し込め。
- ◆2015年運動カレンダーについて
㈱タイユウ・サービスで販売。予約申し込み、質問等は、㈱タイユウ・サービスへ。電話 03-3266-0961
- ◆在葉部隊の開設記念行事(一般開放)
松戸駐屯地・下総航空基地 9月27日(土)、木更津駐屯地・館山航空基地 10月5日(日)、峯岡山分屯基地 11月1日(土)

前期支部長等会議終了

7月23日(水) 14時から千葉市民会館において会長以下、支部長等及び県理事役・監事設計49名が参加、平成26年度隊友会定時総会結果を伝達するとともに「会費徴収の在り方」について審議した。また、下志津駐屯地追悼式場整備、会勢の拡大及び関東甲信越静ブロック研修会の実施要領について連絡した。



◆支部長等会議 会長挨拶

【隊友会主要施策・検討事項】

- ◆会勢拡大施策「ブロック毎に会勢拡大試行駐屯地・基地、入会促進担当隊友会員を指定、入会勧誘活動を実施中。今年度成果があれば、27年度以降、全国規模に拡大。関東甲信越静ブロックの試行駐屯地等は朝霞、横須賀、府中、練馬、新発田、高田、佐渡、浜松。※県でも会勢拡大PTを中心に今後、勧誘活動を強化。
- ◆自衛隊活動に対する激励品贈呈基準「派遣基幹部隊所在の県隊友会長及び派遣基幹部隊以外の有力な派遣部隊が所在する県隊友会長は、努めて派遣前に同部隊に贈呈」することを基本。
- ◆収益事業「26年度は情報提供事業(自販機設置場所情報、ALSOC高齢者見守りサポート設置情報)及び隊友ブランド品(薩摩焼酎「隊友」、市田柿等)の販売を重視して実施。※県隊友会としては「丸大ハム購入」、「セレモア入会」も重視して実施。
- ◆災害時の自衛隊との協同要領
II 隊友会本部事務局が昨年、発刊した「震災時におけるボランティア活動マニュアル」の補完

各地で支部総会を開催

八街支部(鬼島松志支部長)
5月31日(土)、市内において正会員9名が参加。国旗に敬礼、黙祷、支部長挨拶に続き、25事業計画・決算及び26事業計画・予算を審議、承認した。その後、北村新司八街市長、秋本貞利衆議院議員、山本義一県議、石井孝昭・加藤弘両八街市議を来賓に迎え、懇親会を行った。

千葉美浜支部(首藤徹明支部長)
6月22日(日)、稲毛海岸駅前のヴェルシオーネ若潮において正会員16名、特別会員3名の19名が参加。総会では支部長挨拶の後、25事業・会計報告、26事業計画・予算案を審議・承認した。懇親会は白井正一県議、米持克彦市議、松坂吉則市議を来賓に迎え祝辞を頂いた後、会員の近況報告、懇談で盛会のうちを終了。



◆千葉県隊友会美浜支部総会

千葉若葉支部 (佐藤 陸支部長)

6月29日(日)、都賀コミュニティセンターにおいて正会員7名が参加。会には高射学校関連支部の一つである四街道支部から中尾支部長及び高射学校担当の大根稟理事役も来賓として参加、支部長挨拶に続き、25活動実績・26活動予定の紹介後、大根稟理事役から高射学校関連隊友会事業の説明を受けた。引き続き場所を変え、懇親会に移行、3時間わたるカラオケ交じりの和気あいの交換夕べとなった。



千葉若葉支部 6年振りの支部総会

山武東金支部 (若梅友男支部長)

6月22日(日)、東金市中央公民館において正会員25名、来賓として金坂昌典大網白里市長、松下浩明県議、五十嵐雅康第一空挺団第3普通科大隊長が出席、25事業報告・決算及び26事業計画を承認した。引き続き、同所において、東海大学海洋学部教授 山田吉彦氏を講師に迎え、「未来につながる海洋政策の確立」と題した講演を拝聴。参加者は志賀直温東金市長、佐藤勝彦松芝町長、石橋浩孝・

松下浩明両県議、金坂大網白里市長を始めとする来賓14名、正会員34名及び市民22名、計70名であった。懇親会は、市内「かくじゅう」において、志賀東金市長、佐藤松芝町長、阿井伸也・実川 隆尚県議、五十嵐大隊長及び柏倉最先任上級曹長を来賓に迎え、和やかに懇談、自衛隊に対する理解を深めて頂いた。

東葛地区支部連合会 (豊嶋尉史会長)

7月13日(日)、松戸駐屯地内において正会員51名が参加。総会に引き続き、需品学校長 神原誠司陸将補から「最近の防衛環境」と題した防衛講話を拝聴。その後、懇親会に移行、渡辺博道・櫻田義孝・白須賀貴樹各衆議院議員、本郷谷健次松戸市長、清水聖士鎌ヶ谷市長、河上 茂・武田正光両県議、甲斐俊光我孫子市長、神原需品学校長及び和田信之関東補給処松戸支処長を来賓に迎え、和気あいの賑やかなうちに終了した。

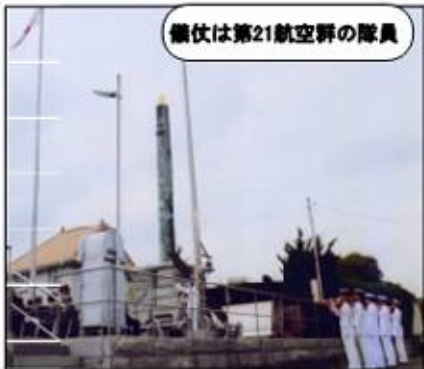
相談役交代

田尻祐介・今金 元 陸将補着任

8月5日付で第1ヘリコプター団長兼木更津駐屯地司令 田中重伸陸将補及び需品学校長兼松戸駐屯地司令 神原誠司陸将補は、それぞれ東北方面総監部幕僚副長及び九州補給処長兼目連駐屯地司令に栄転された。両司令には、県隊友会相談役として各種の会活動に協力頂き、感謝申し上げます。新職務での益々の発展をお祈りする。同日付でヘリ団長に統合幕僚監部防衛計画部計画課長から田尻祐介陸将補が、需品学校長に陸自幹部学校教育部長から今金 元陸将補が着任された。会長、副会長、近傍支部長及び関係理事役は、8月中旬、両司令を表敬訪問、相談役就任をお願いした。

各地で慰霊祭に参列

◆旧館山海軍砲術学校平和祈念祭 6月1日(日)、旧海軍砲術会主催で同学校跡地(館山市佐野)において館砲会関係者、館山市長、県議、市議、自衛隊協力会、自衛隊OB、県隊友会館山支部長・同支部会員及び第21航空群司令等総計35名が参列して斎行され、英霊を悼仰し、恒久平和を祈念した。本慰霊祭は、平成3年、旧海軍砲術会の手で砲術学校跡地に平和祈念塔が建立され、毎年、同会主催で行われており、海自第21航空群は、会場設営及び儀仗隊派遣等、本慰霊祭を全面的に支援している。【館山支部長 川村 憲】



機伏は第21航空群の隊員

館山海軍砲術学校平和記念祭



旧海軍落下傘部隊戦没者慰霊祭

横一特(海軍落下傘部隊)は大東亜戦争開戦翌年の蘭印作戦においてセレベス島メナド南方のランゴア飛行場に空挺降下し、蘭軍を撃破、同地を占領、以後の南方作戦を容易にした。(日本最初の空挺作戦)

館山海軍砲術学校(通称「館砲」)

館砲は、米英との緊張が高まる昭和16年6月1日、海軍砲術学校(横須賀)の併設校として平砂浦海岸近くの佐野に開校、主として陸戦・対空戦の戦技を教育した。同年9月には横須賀鎮守府第1特別陸戦隊(別名「横1特」、海軍最初の落下傘部隊)、続いて「横3特」も編成され、来るべき奇襲作戦に備えた。各地から集まった予備学生、普通科・高等科練習生等の若者は連日、厳しい訓練を受け、訓練終了後、太平洋の島々の守備部隊に配属され来襲する米軍部隊と激しい戦闘を行った。元卒業生も高齢になり慰霊祭の主催も困難になっている。



当時の館砲正門を行進する訓練生



田尻 祐介 陸将補



今金 元 陸将補

平成26年7月・8月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

ご入会深謝・隊友会の発展にご協力を

- 【船橋】 及川 晃(陸)
- 佐藤 雅彦(陸)
- 後藤 信彦(陸)
- 【習志野】 泉谷 純逸(陸)
- 志田 和久(陸)
- 【四街道】 俵 光弘(陸)
- 北村 昌宏(陸)
- 大城 健彰(陸)
- 【白井】 長谷川 宏(陸)
- 【柏】 木野村 謙一(陸)
- 【印西】 谷口 健二(陸)
- 【千葉花見川】 田中 敏明(陸)
- 藤田 稔(陸)
- 【鎌ヶ谷】 山本 博秋(海)

九都県市合同防災訓練を研修

9月6日(土)、南房総市和田地域福祉センター前において第35回千葉県会場訓練が実施され、県から会長、大根防災担当理事役、三好・川村・林各支部長及び木更津支部佐藤 雄志・鈴木雅己両会員2名計7名が研修した。



房総半島沖M8.2の地震発生との想定で実施された。



高射隊専隊、1施設大隊が参加

◆浦安市「みたま祭り」 7月15日(火) 16時から浦安市役所裏忠霊塔において浦安市遺族会が主催、浦安市が後援して「みたま祭り」が斎行された。県隊友会から支部長及び会員4名が参列。「みたま祭り」は今年で36回目を迎え、浦安市内の清瀧神社神職のもと神事が執り行われ、松崎秀樹浦安市長、市議会議長、県議会議員、浦安市危機管理監の澤島 博氏(元白)をはじめ来賓が多数参加、式典は厳かに実施された。隊友会も一人ひとり玉串を奉奠し、国のために尽くされた英霊に哀悼の誠を捧げた。【浦安支部 高谷哲郎】

◆我孫子市忠魂碑への拝礼(慰霊祭) 8月15日(金) 10時から市内の柴崎神社(宮司 湯下正博氏)内の忠魂碑にて、我孫子市遺族会(会長 海老原仁市氏)、東葛併行会の有志に隊友会我孫子支部会員(新規参列)ら約20名が集い、宮司の司会・進行で慰霊祭が行われた。その後遺族会の方々の持ち寄られた食べ物、ビール等の飲み物で、宮司も加わり歓談し、遺徳を偲んだ。なお、この忠魂碑については、大東亜戦争における市内の戦没者(279名)が刻まれており、昭和29年に我孫子中学校に設置されたが、その後、日教組等の反対があり、現在の柴崎神社内に移設され、現在、宮司により積極的・主体的に維持、管理されている。【我孫子支部長 豊嶋尉史】

◆松戸市忠魂碑慰霊祭 8月24日(日) 10時半から松戸市相模台公園内「忠魂碑エリア」において東葛併行会主催で斎行。式には松戸市遺族会会長以下7名、東葛併行会会長以下7名及び松戸支部から角野明人会員以下3名が参列した。【松戸支部 浅野 晃】



浦安市「みたま祭り」



我孫子市忠魂碑に拝礼



松戸市忠魂碑

陸軍工兵学校

「工兵の街松戸」で知られる

松戸市忠魂碑が所在する相模台公園はJR(新京成)松戸駅東口すぐの台の上に位置し、この一帯に大正8年から終戦の昭和20年8月まで26年間「陸軍工兵学校」が設置され、全国各部隊から下士官・士官が集い、近傍の江戸川架橋場及び八柱演習場で架橋、渡河、築城、坑道、地雷戦、機械操作等の腕を磨き近代戦における戦場機動を支えた。今は相模台公園に隣接する松戸中央公園入口の門柱と歩哨舎跡が当時の様子を伝えている。



陸軍工兵学校門柱と歩哨舎跡 (現松戸中央公園入口 松戸市指定有形文化財)